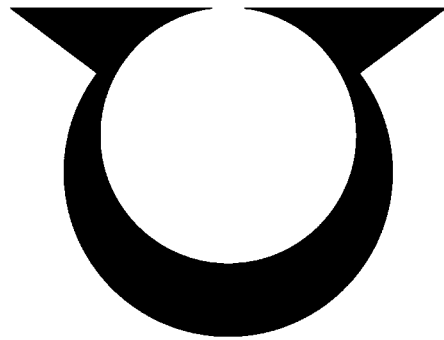


令和5年度

檜原村教育委員会の権限に属する事務の  
管理及び執行状況の点検・評価報告書  
(令和4年度対象事業分)



令和5年8月

檜原村教育委員会

## 目 次

- 第1 檜原村教育委員会の令和4年度教育目標及び基本方針について  
・・・・・・・・・・ 1
- 第2 檜原村教育委員会の基本方針に基づく「7の取組の方向」  
及び基本施策について ・・・ 3
- 第3 評価の結果の判定基準表について ・・・・・・・・・・ 8
- 第4 檜原村教育委員会の権限に属する事務の管理及び執行状況の  
点検・評価について ・・・ 9
- 第5 檜原村教育委員会の令和4年度の活動状況について ・・・・・・・・・・ 23

## 第1 檜原村教育委員会の令和4年度教育目標及び基本方針について

檜原村教育委員会は、令和4年度に実施する教育行政の基本となる「教育目標」と、この目標を達成するために4つの「基本方針」を策定した。

### 1 檜原村教育委員会の教育目標

教育は、常に、普遍的かつ個性的な文化の創造と豊かな社会の実現を目指し、平和的な国家及び社会の形成者として自主的精神にみちた健全な人間の育成と、わが国の歴史や文化を尊重し国際社会に生きる日本人の育成とを期して、行われなければならない。

同時に教育は、社会の変化に対応して絶えずそのあり方を見直していかなければならないものであり、経済・社会のグローバル化、情報技術革命、環境問題、少子高齢化等、時代の変化に主体的に対応し、日本の未来を担う人間を育成する教育が重要になっている。

檜原村教育委員会は、このような考え方に立ち、「檜原村教育大綱」に基づき、「心豊かな村民を育む村づくり」の実現に向けて、以下の「教育目標」を設定し、東京都教育委員会と連携して、教育行政を推進する。

檜原村教育委員会は、学校教育及び社会教育を通して、檜原の郷土に根ざし、「ふるさと」を支え、ともに生きる村民の育成を目指します。そのために、豊かな人間性を養い、村の「自然と文化・歴史」を尊び、守り、大切にすることを基盤とする小学校・中学校一貫教育を推進し、檜原村の郷土に根ざし、ふるさとを大切にすることを育成します。

1. 自ら学ぶ子供（知）
2. 明るく素直で、感性豊かな子供（徳）
3. 元気な体をつくる子供（体）

また、学校教育及び社会教育を充実し、だれもが生涯を通じ、あらゆる機会学び、支え合うことができる社会の実現を図ります。そして、教育は、家庭、学校及び地域のそれぞれが責任を果たし、連携して行なわれなければならないものであるとの認識に立って、すべての村民が教育に参加することを目指します。

## 2 檜原村教育委員会の基本方針

### (1) 「人権尊重の精神」と「社会貢献の精神」の育成

すべての大人、子供たちが、人権尊重の理念を正しく理解するとともに、思いやりの心や社会生活の基本的ルールを身に付け、社会に貢献しようとする精神を育むことが求められる。そのために、人権教育及び心の教育を充実するとともに、権利と義務、自由と責任についての認識を深めさせ、公共心をもち自立した個人を育てる教育を推進する。

### (2) 「豊かな個性」と「創造力」の伸長

国際社会に生き、社会の変化に対応できるよう、子供たち一人一人の思考力、判断力、表現力等の資質・能力を育成することが求められる。そのために、基礎的な学力の向上を図り、子供たちの個性と創造力を伸ばす教育を重視するとともに、郷土を愛し、国際社会に生きる日本人を育成する教育を推進する。

### (3) 「総合的な教育力」と「生涯学習」の充実

少子高齢社会の中で総合的な教育力の向上を目指す檜原村にあって、子供たちの健やかな成長を社会全体で支えるとともに、住民一人一人が生涯にわたって学び、社会に貢献できることが求められる。そのために、家庭・学校・地域の教育力を高め、その連携が進むよう支援するとともに、人々が生涯を通じて、自ら学び、文化・スポーツに親しみ、社会参加できる機会の充実を図る。

### (4) 「住民の教育参加」と「学校経営の改革」の推進

家庭・学校・地域の協働とすべての住民の教育参加を進め、住民感覚と経営感覚をより重視して、教育行政を力強く展開することが求められる。そのために、他地区教育委員会と緊密な連携・協力するとともに、地域の特性を踏まえた広域的な視点に立つ教育行政を進め、住民に信頼される魅力ある学校づくりを目指した自律的な学校経営への改革を支援する。

## 第2 檜原村教育委員会の基本方針に基づく「7の取組の方向」及び基本施策について 4つの「基本方針」に基づき、6の取組の方向、19の基本施策を実施した。

### ■取組の方向1 明るく素直で、感性豊かな檜原の子供（徳）

#### 【基本施策1】人権教育の推進

- (1) 人権尊重の理念を広く社会に定着させ、あらゆる偏見や差別をなくすため、国が策定した「人権教育・啓発に関する基本計画」を踏まえるとともに、「東京都人権施策推進指針」、「東京都教育委員会人権教育プログラム（学校教育編）」等に基づき、人権教育を推進する。
- (2) 子供たちが自信を持ち、自己のよさや可能性を見出し、新たなことや困難なことにも挑戦しようとする意欲を高めるため、子供たちの自尊心の形成に係わる取組を行い、子供たちの自己肯定感を高めるための教育を推進する。

#### 【基本施策2】心の教育の推進

- (1) 社会の責任ある一員としての規範意識や公共心、思いやりの心を育むために、児童・生徒が考え、議論し、行動しながら身に付ける道德教育の一層の充実を図るとともに、「道德授業地区公開講座」などを通して、学校・家庭・地域が一体となり、子供たちの豊かな心の育成を推進する。
- (2) 子供たちが、自他をいつくしみ生命を大切にす等、人間性豊かに健やかに成長できるように、学校・家庭・地域の連携のもとに、「心とからだの健康づくり」を推進する。

#### 【基本施策3】健全育成の充実

- (1) いじめや不登校など、児童・生徒の多様な課題に対応するため、互いに認め合い共に学び合う学校づくりを進めるとともに、「ふれあい（いじめ防止強化）月間」を通して、新型コロナウイルス感染症に関するいじめなどを含めた問題行動の未然防止や早期発見・早期対応等につながる取組、「学校いじめ防止基本方針」の見直しを行うなど健全育成の充実を図っていく。
- (2) スクールカウンセラー、臨床心理士などの活用を図りながら小・中学校9年間の継続的な相談活動を通して、学校における相談機能の充実を図るとともに、檜原村教育相談室等の関係機関との連携を推進する。また、檜原村教育相談室の機能強化を行い、地域の実情に応じた形で、教育支援センター的機能の取組の推進に向けて、檜原村教育相談室の機能強化を図りながら、児童・生徒の多様な課題に対応する。
- (3) 自殺総合対策大綱を受けて、学校における自殺対策に資する教育として、「命の大切さを実感できる教育」「様々な困難・ストレスへの対処方法を身に付けるための教育（SOSの出し方に関する教育）」など、児童・生徒の自殺を予防する取組として、心の健康の保持に係る教育を推進する。
- (4) 児童・生徒がインターネット、SNS（ソーシャル・ネットワーキング・サービス）等の情報化社会の進展による様々な影響を理解するため、地域や家庭との連携を図りながら、情報化社会で適正な行動を行うための基になる態度やスキルを育てる情報モラル教育の充実を図る。

(5) 警察署のスクール・サポーターなどの関係機関と連携した「セーフティ教室」を中心に、児童・生徒の健全育成の充実を図るとともに、学校・家庭・地域の連携による非行及び犯罪防止教育を推進する。

#### 【基本施策4】郷土や日本の伝統・文化及び国際理解教育の推進

- (1) 郷土檜原村に関する「ふるさと檜原学習」及び日本の伝統や文化について学ぶ機会の充実を図り、日本人の自覚と誇りを養うとともに、世界の多様な文化を尊重する態度や資質を育む教育を推進する。
- (2) 小学校における外国語教育や「中学生海外派遣事業」に伴うオーストラリアの学校との交流、東京グローバルゲートウェイ(TGG)での体験などを通して、日本の歴史や文化に関心を持つとともに、進んで郷土や国際社会に貢献するグローバル人材を育成する。

#### 【基本施策5】体験活動の推進

- (1) 豊かな体験を通して児童・生徒の道徳性を育成するため、集団宿泊活動、ボランティア活動、自然体験活動、職場体験活動、文化・芸術体験活動等、学校内外における学習の充実に努める。
- (2) 芸術・文化活動を通して、豊かな個性や創造力を発揮し、互いに交流できる機会を充実することによって、子供たちの芸術的感性を高め、豊かな情操を育む教育を推進する。
- (3) 共生社会の実現などに向けて、家庭や地域などと連携を図りながら、東京オリンピック・パラリンピック大会後も長く続けていく教育活動として、「学校2020レガシー」を設定し、児童・生徒の実態、地域性を鑑みながら、学校の特色となるよう取組を推進する。

#### 【基本施策6】キャリア教育の推進

- (1) 子供たちの勤労観・職業観や主体的に進路を選択する能力・態度を育むための「中学生の職場体験」における就業体験を支援するとともに、子供たちの社会的・職業的自立に向け、必要な基盤となる能力や態度を育てることを通して、社会の中で自分の役割を果たしながら、自分らしい生き方を実現する過程を促す教育の充実を図る。
- (2) 学習指導要領に基づき、児童・生徒が、学ぶことと自己の将来とのつながりを見通しながら、社会的・職業的自立に向けて必要な資質・能力を身に付けていくことができるよう、特別活動を要としつつ、各教科等の特質に応じて、キャリア教育の充実を図るために、「キャリア・パスポート」を活用した教育を推進する。

### ■取組の方向2 自ら学ぶ檜原の子供（知）

#### 【基本施策7】確かな学力の育成

- (1) 学習指導要領に基づき、豊かな創造性を備え、持続可能な社会の創り手となることが期待される児童・生徒に生きる力を育むことを目指すとともに、「主体的・対話的で深い学びの実現を目指した授業改善」を通して、児童・生徒の「確かな学力」を

育成する。

(2) 各学校が「総合的な学習の時間」の目標と関連を図りながら設定した学校教育目標の達成に向けた取組について、その支援を行うことで、「特色ある学校」の更なる充実を推進していく。

### 【基本施策8】言語能力、情報活用能力、問題解決能力の育成

(1) 国語科を要としつつ、各教科などにおいて、言語能力を支える語彙の段階的な獲得を含め、指導方法などの研究開発を行い、児童・生徒一人一人の発達段階に応じた言語能力の育成を推進する。

(2) 学習活動を遂行する上で必要となる情報手段の基本的な操作の習得やプログラミング的思考、情報モラル、情報セキュリティなどといった情報活用能力については、各教科などの特質に応じて、適切な学習場面でその育成を図っていく。

(3) 物事の中から問題を見だし、その問題を定義し解決の方向性を決定するなどして、次の問題発見・解決につなげていく過程を重視した深い学びの実現については、各教科などの特質に応じて、その育成を図っていく。

## ■取組の方向3 元気な体をつくる檜原の子供（体）

### 【基本施策9】健康・体力づくりの推進

(1) 個性を発揮し、創造的な活動の基盤となる健康や体力に関する意識を高め、健康を保持増進する資質や能力を育むとともに、体力の向上を目指し、学校・家庭・地域が連携・協力した子供の健康・体力づくりを推進する。

(2) 子供たちの総合的な健康づくりを推進するため、檜原村診療所及び保健師などによる学校健康活動の支援の充実及び栄養士による食育に関する活動や家庭への啓発を行う。また、檜原学園保健委員会を一層充実させ、子供たちの健康課題の克服を図るとともに、新型コロナウイルス感染症に関しても、子供たちが自ら考え、判断し、行動できる実践力を育成するための教育活動の充実を図る。

(3) 児童・生徒の体力向上のために、体育授業における運動時間の確保をはじめ、運動部活動への積極的な参加など、学校教育全体を通して、体力の維持・増強の充実を図る。なお、運動部活動に関しては、「檜原村教育委員会 運動部活動の在り方に関する方針」に基づき、地域の実態に合った形で実施されるよう支援を行う。

(4) 子供たちの個性・能力の伸長を図るとともに、外部人材の活用やスポーツ関係団体と連携しながら、子供たちが生涯にわたってスポーツ等に親しむ態度を育成するための取組を推進する。

### 【基本施策10】安全教育の充実及び安全管理の徹底

(1) 児童・生徒が安全に関する基礎的・基本的事項を理解し、思考力・判断力を高めることで、安全について適切な意思決定ができるようにする学習（安全学習）と、安全の保持・増進に関するより実践的な能力や態度を、さらには望ましい習慣の形成を目指す指導（安全指導）を一体的に捉えながら、地域の実情にあった「安全教育」の充実を図っていく。

(2) 事故の要因となる学校環境や児童・生徒の学校生活などにおける行動の危険を早期に発見し、それらの危険を除去する体制を確立しながら、児童・生徒の安全の確保を図るために、「安全管理」の充実を図っていく。

#### ■取組の方向4 義務教育機関を通じた教育の推進

##### 【基本施策11】小中一貫教育の推進

- (1) 檜原村小中一貫教育推進委員会が策定した「檜原村立小・中学校一貫基本計画第三期計画」に基づき、義務教育9年間を見通した教育方針や育成する児童・生徒像を小・中学校で共有し、計画的・継続的な指導を行いながら、地域の特色を生かした小中一貫教育を推進する。
- (2) 義務教育9年間のカリキュラムの編成と実施を推進するとともに、小・中学校合同の研修会の実施及び小・中学校合同の研究授業を通して、確かな学力の定着に向けた指導計画及び教材の工夫・開発を推進する。
- (3) 子供たちに対する一貫性のある指導を行うため、保育園から中学校までの系統性・継続性を重視した教育を推進する。特に、小学校への円滑な接続を図るために、保育園・小学校が連携した就学前教育（スタート・カリキュラム）の在り方を改善する取組を進める。

#### ■取組の方向5 教職員研修及び教育環境の充実

##### 【基本施策12】教職員の資質・能力の向上

- (1) 多様化する教育課題に組織的に対応するため、東京都教職員研修センターなどが主催する研修会への参加を通して、学校における教育活動の充実を図る。
- (2) 東京都教職員人材育成指針を受け、東京都公立学校及び檜原村公立学校の教員として必要な能力の育成を図るため、教職経験に応じて、幅広い知見、使命感や実践的指導力等を向上させるとともに、児童・生徒に対する指導技術や組織的に課題を解決する能力を育成するための取組を推進する。
- (3) 「檜原村立学校における働き方改革推進プラン（令和元年6月1日 檜原村教育委員会策定）」に基づき、スクール・サポート・スタッフの導入をはじめとし、学校を支える人員体制の確保を行うなど、教員の負担を軽減し、教育の質の向上を図っていく。

##### 【基本施策13】特別支援教育の推進

- (1) 東京都特別支援教育推進計画（第二期）・第二次実施計画（令和3年～令和5年）に基づき、障害のある子供たちの一人一人の能力を最大限に伸長するため、乳幼児期から学校卒業までのライフステージを見通した多様な教育を展開し、社会的自立を図ることのできる力や地域の一員として生きていける力を培う教育を着実に推進する。
- (2) 発達障害を含めた障害のある児童・生徒の特別な教育ニーズに対応するため、小・中学校における特別支援教室を中心に、特別支援教育を円滑に進めるために必要な体制を整備するとともに、特別支援学校に在籍する児童・生徒の副籍制度の円滑な接続に向



けた取組も推進していく。

- (3) 特別支援学校のセンター的機能を活用しながら、「特別支援教育推進委員会」の機能の充実に努め、檜原村における特別支援教育に関わる課題解決に向けた取組を推進していく。

#### 【基本施策14】開かれた学校づくり

- (1) 社会に開かれた学校の実現のため、保護者や地域住民の教育参加と開かれた学校づくりを引き続き推進する。
- (2) 小規模校に起因する学校経営上の諸制約や課題を克服し教職員の創意を生かした教育課程の編成・実践に基づく学校評価をすることで、不断に学校改善を図っていく。
- (3) 村民に信頼され、魅力ある学校づくりを進めるため、校長の人事構想に基づく教員人事及び学校の組織的な課題対応力向上のための取組により、校長のリーダーシップの確立を図るとともに、職層研修などにおいて、O J T（職場研修）に関する講話や演習を実施し、学校におけるO J Tを推進する。

#### 【基本施策15】学校施設・設備の整備

- (1) 情報化時代に対応した新たな学びを実現へ向けて、「G I G Aスクール構想」の理念を推進し、学校I C T環境を整備する。
- (2) 学校施設の計画的な修繕及び管理に努めるとともに、時代に対応した教育機器及び機材の計画的な更新、整備を推進する。

### ■取組の方向6 生涯学習・文化・スポーツの振興、総合的な教育力の向上

#### 【基本施策16】生涯学習の振興

- (1) 高齢社会における学習と社会参加が容易に図られるよう生涯学習の振興を図る。
- (2) 生涯学習ネットワークを構築して、住民の生涯学習を総合的に支援する。

#### 【基本施策17】郷土の文化の保存と継承

- (1) 檜原村に伝わる有形・無形の文化財の保護に努めるとともに、檜原村郷土資料館等を利用する等して文化財の公開・活用を進める。

#### 【基本施策18】スポーツの推進

- (1) 住民のスポーツの振興、健康、体力づくりを進めるため、スポーツ活動の場の整備や指導者及びスポーツクラブの育成等に努める。

#### 【基本施策19】家庭、学校、地域の連携・協力の強化

- (1) 子供たちの「次代を担う力」を育むために、地域住民が主体となって、企業等様々な機関の協力を得ながら、子供の体験学習や家庭教育支援を行う仕組みをつくり、学校・家庭・地域の教育力の総合的な向上を図る。

### 第3 評価の結果の判定基準表について

点検の基準については、以下の通りとする。

記号	施策・事務事業の取組状況	点検・評価の判断
◎	順調である	<ul style="list-style-type: none"><li>・ 事業として大きな成果を上げた。</li><li>・ 課題や問題もない。</li></ul>
○	おおむね順調である	<ul style="list-style-type: none"><li>・ 一定の成果を上げた。</li><li>・ 大きな課題や問題がない。</li></ul>
△	やや不調である	<ul style="list-style-type: none"><li>・ 多少成果は上がった。</li><li>・ 課題や問題点がある。</li></ul>
×	不調である	<ul style="list-style-type: none"><li>・ 成果が上がらなかった。</li><li>・ 大きな課題がある。</li></ul>

第4 檜原村教育委員会の権限に属する事務の管理及び執行状況の点検・評価について

1 取組の方向1 「明るく素直で、感性豊かな檜原の子供の育成（徳）」

基本施策	概要	評価の結果
①人権教育の推進	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 全教育活動を通じた、人権尊重・生命尊重のための教育の推進</li> <li>・ 西多摩郡人権教育推進委員会を通じて行った、授業実践の推進と成果物の発表</li> <li>・ 東京都教育委員会人権教育プログラム(学校教育編)を活用した研修おける、人権感覚の醸成と障害者理解教育の推進</li> </ul>	○
②心の教育の推進	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 東京オリンピック・パラリンピックでの学びを生かし、ボランティア活動などを通して社会の一員としての自覚を促すための教育の推進</li> <li>・ 家庭や地域と連携した道徳教育の実施</li> <li>・ 「特別の教科 道徳」を要とした、社会貢献や思いやりの大切さについての理解を深める道徳教育の推進</li> <li>・ 学園主催の「道徳授業地区公開講座」の実施</li> <li>・ 東京都教育の日と連携した取組の実施</li> </ul>	○
③健全育成の充実	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 「ふれあい(いじめ防止強化)月間」の取組の実施及び結果の活用</li> <li>・ 児童・生徒、保護者の不安や悩みに対する教育相談員やスクールカウンセラー等の活用推進</li> <li>・ いじめや不登校等の対する教育活動の推進</li> <li>・ 教育相談室の機能強化による適応指導教室などの設置に向けた取組の推進</li> <li>・ 様々な困難・ストレスへの対処法を身に付けるための教育(SOSの出し方に関する教育)の実施</li> <li>・ 情報化社会において適切に行動するための基礎になる態度やスキルを育てる「情報モラル」教育の推進</li> </ul>	○

	<ul style="list-style-type: none"> <li>生活指導主任会などを中心とした、スクール・サポーターとの連携</li> </ul>	
④郷土や日本の伝統・文化及び国際理解教育の推進	<ul style="list-style-type: none"> <li>地域の資源を活用した郷土教育の充実</li> <li>郷土芸能鑑賞教室の開催による郷土教育の推進</li> <li>小学校における外国語教育の更なる充実</li> <li>中学生海外派遣事業に伴うオーストラリアの学校との交流推進</li> <li>東京グローバルゲートウェイ(TGG)における豊かな国際感覚の醸成と体験活動の推進</li> <li>郷土に関する「ふるさと檜原学習」の推進</li> </ul>	○
⑤体験活動の推進	<ul style="list-style-type: none"> <li>森林資源を活用した自然体験を通して、地球環境の保全について考える「環境教育」の充実</li> <li>芸術・文化活動の支援及び芸術鑑賞教室の実施</li> <li>総合的な学習の時間と関連を密にした体験活動の実施</li> <li>オリンピックレガシーを活用した体験活動の推進</li> </ul>	◎
⑥キャリア教育の推進	<ul style="list-style-type: none"> <li>社会的・職業的自立のために必要な力を育成するためのキャリア教育の推進</li> <li>職業人講話、上級学校講話、職場体験の実施</li> <li>販売体験活動といった実社会を意識したキャリア教育の実施</li> <li>「キャリア・パスポート」を活用したキャリア教育の充実</li> </ul>	○
総合評価	<ul style="list-style-type: none"> <li>「人権教育の推進」について、西多摩郡人権教育推進委員会では、人権課題として「インターネットによる人権侵害」をテーマに設定し、檜原中学校にて研究授業及び研究協議会を開催した。また、その内容を人権教育啓発資料「いのち」へ反映させ、多摩地区全教育委員会へ成果物として配布した。その他にも、檜原村人権教育担当者連絡会を年4回実施し、人権教育を更に推進するため</li> </ul>	○

	<p>の取組を行った。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 「心の教育の推進」については、檜原学園主催の道徳授業地区公開講座を小・中同日に実施し、学校・家庭・地域が一体となって、豊かな心の育成するための取組を行った。</li> <li>・ 「健全育成の充実」について、いじめ対策では、学校いじめ防止校内委員会、学校いじめ防止基本方針の周知及び新型コロナウイルス感染症に関するいじめの防止や組織的な未然防止に関する指導のための支援を行った。不登校対策では、アセスメントを活用した「登校支援シート」の作成を促し、早期支援の流れを学校へ提示した。そして、様々な困難・ストレスへの対処方法を身に付けるための教育（SOSの出し方に関する教育）を実施した。また、情報モラル教育では、SNSルールの浸透に係る支援を行った。</li> <li>・ 「郷土や日本の伝統・文化及び国際理解教育の推進」については、小学校での外国語教育の推進の一環として、東京グローバルゲートウェイ(TGG)を活用し、国際理解教育を推進するための取組を支援した。</li> <li>・ 「体験活動の推進」については、「体験のシャワー」に代表される直接的な体験活動やオリンピックレガシーを意識した「子どもを笑顔にするためのプロジェクト」を実施するための支援を行った。</li> <li>・ 「キャリア教育の推進」については、特別活動を要として、「キャリア・パスポート」の活用を行い、新たな学習や生活への意欲をつないで、将来への生き方について模索できるよう支援した。</li> </ul>	
<p>今後の方策</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 「人権教育の推進」では、毎年、東京都教育委員会の設定した人権課題の中から、学校が課題と捉えた項目を取り上</li> </ul>	

	<p>げ、その偏見や差別の解消に向けた授業実践及び研究協議を行っている。次年度は、檜原小学校を会場とし、西多摩郡人権教育推進委員会研究授業の支援を行い、人権教育を推進する。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 「心の教育の充実」では、道徳地区公開講座を実施し、学校・家庭・地域が連携しながら、豊かな人間性を育成するための取組を推進する。</li> <li>・ 「健全育成の充実」では、いじめ及び不登校への対応について教育相談室と生活指導が連携をして取り組む。各校のいじめ防止校内委員会の基本方針が機能するように支援するとともに、スクールカウンセラーやスクール・サポーターなど、関係機関と連携し、様々な立場からの支援を進めていく。</li> <li>・ 「郷土や日本の伝統・文化及び国際理解教育の推進」では、学校の全体計画、年間指導計画において、これらの教育内容が各教科等の系統性や学びの連続性が図れるよう教育課程へ反映し、「ふるさと檜原学習」の推進に向けた支援を行う。</li> </ul>
--	--

## 2 取組の方向2 「自ら学ぶ檜原の子供の育成（知）」

基本施策	概要	評価の結果
⑦確かな学力の育成	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 文部科学省、東京都の学力調査及び檜原村独自の学力調査の実施による確実な実態把握の推進</li> <li>・ 各種学力調査の結果等を反映して各校が作成した「授業改善推進プラン」のヒアリングの実施</li> <li>・ 小・中学校に配置した指導方法工夫改善加配担当教員による習熟度別指導の充実</li> <li>・ 英語・漢字検定（小学校）、英語・数学・漢字検定（中学校）の実施</li> <li>・ 学習指導要領に基づいた「主体的・対話的で深い学び」を実現に向けた授業改善への支援</li> </ul>	○

	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 「小学生放課後学習教室」といった学校教育活動外における学習支援事業との連携</li> <li>・ 小学校プログラミング教育の導入に向けた支援</li> <li>・ 社会科副読本編集委員会による「わたしたちの檜原村」の次期作成への支援</li> <li>・ 檜原村情報教育担当者連絡会を活用した情報活用能力育成のための取組の支援</li> <li>・ 総合的な学習の時間を要とした「ふるさと檜原学習」の充実に向けた取組の支援</li> </ul>	
<p>⑧言語能力、情報活用能力、問題解決能力の育成</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 言葉による発信力を高め、社会生活に役立つ言葉を育むための言語活動の推進に対する支援</li> <li>・ 学習基盤をつくる活動としての言語活動の推進</li> <li>・ 檜原村子供読書活動推進計画に基づいた読書環境整備の推進</li> <li>・ 各学年の実態に応じて、各教科等横断的な「書く活動」の推進</li> <li>・ ICT機器の積極的活用</li> <li>・ 学習マップなどを生かした問題解決の充実</li> </ul>	○
<p>総合評価</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 「確かな学力の育成」については、全国学力・学習状況調査を踏まえた指導計画作成のための支援を行った。また、各校に対して、村独自で行っている学力調査の結果や授業における観点別学習状況から課題を明確にし、授業改善を図るための授業改善推進プラン作成及びヒアリングを実施した。また、学習指導要領における学習評価を踏まえ、適正で信頼される評価となるよう支援を行った。さらには、授業改善推進プランを活用した振り返りを年度末に行うことや、自己申告へ進捗状況を記載するよう助言した。</li> <li>・ 「言語能力の向上」については、読書活動、俳句、群読、多摩子ども詩集等の活動への取組に対して支援を行った。また、各学年の実態に応じて、一</li> </ul>	○

	人一台端末の推進及び、I C T機器の積極的な活用に向けた支援を行った。	
今後の方策	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 学習指導要領の理念を踏まえ、主体的・対話的で深い学びの実現に向けた、「指導と評価の一体化」についての理解を深めるために、引き続き各校へ対して指導・助言を行っていく。</li> <li>・ 習熟度別指導については、「東京方式習熟度別指導ガイドライン」に基づき、各校が設定する具体的な目標を達成できるよう指導・助言を行っていく。</li> <li>・ 学力向上に関する課題解決に向けて授業改善を図るために、授業改善推進プラン作成及び活用について、エビデンスに基づいたアセスメントを作成するとともに、計画のみで終わっていないか、成果と課題について振り返るよう指導・助言を行う。</li> <li>・ 一人一台の端末がについて、各教科、積極的に活用することによって、児童・生徒の学習意欲を引き出し、学力の向上を図るよう、引き続き指導・助言を行っていく。また、端末のみに頼るのではなく、書く活動の良さについても焦点化し、振り返り活動に力を入れて実施するよう、指導・助言を行う。</li> </ul>	

### 3 取組の方向3 「元気な体をつくる檜原の子供の育成（体）」

基本施策	概要	評価の結果
⑨健康・体力づくりの推進	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 体力・運動能力及び運動習慣等調査の活用や東京オリンピック・パラリンピックの学びを生かした子供たちのスポーツ志向を引き出し、体力向上へ向けた取組への支援</li> <li>・ 運動・スポーツ活動、学校保健、食育の推進</li> <li>・ 体力向上を目指した体育的活動の計画的な実施</li> <li>・ 学習指導要領に基づく「がん教育」の実施に向けた支援</li> </ul>	◎



<p>⑩安全教育の充実及び安全管理の徹底</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 児童・生徒の安全対応能力の向上を図る学校安全計画の整備</li> <li>・ 安全管理体制の整備及び教職員の安全対応能力の向上を図る取組</li> <li>・ 「セーフティ教室」の実施</li> <li>・ 「安全教育プログラム」等を活用した教育の実施</li> </ul>	<p>○</p>
<p>総合評価</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 「健康・体力づくりの推進」については、学園マラソン大会を中心とした体力向上に関する学校への支援を行った。</li> <li>・ 「安全教育の充実及び安全管理の徹底」について、熱中症の防止や感染症予防等、時期に応じた安全管理に関する支援を行った。</li> </ul>	<p>◎</p>
<p>今後の方策</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 「健康・体力づくりの推進」では、体育科の授業改善や体育的活動の改善、休み時間を活用した体力向上の取組を進め、児童・生徒の体力向上に向けて支援する。また、健康教育の一環として、がん教育を推進する。がんについての正しい知識と共感的な理解が深まるよう支援を行う。</li> <li>・ 「安全教育の充実及び安全管理の徹底」では、安全教育プログラムの活用等を通して、実践的な安全指導の充実を図っていく。また、熱中症の防止や新型コロナウイルス感染症への対応を中心とした感染症予防に関する指導・助言を行い、安全管理の徹底に向けた取組を支援する。</li> </ul>	

#### 4 取組の方向 4 「義務教育期間を見通した教育の推進」

基本施策	概要	評価の結果
⑪小中一貫教育の推進	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 檜原村小中学校一貫教育推進委員会の実施</li> <li>・ 檜原村学校教育支援室との連携による学校教育支援室連絡会の実施</li> <li>・ 檜原村立小中学校一貫教育基本計画第三期計画の推進</li> <li>・ 指導交流（教員の校種を超えた指導）の推進</li> <li>・ 授業交流（小学生と中学生の合同授業）の推進</li> <li>・ 合同行事（学園運動会、マラソン大会、郷土芸能教室等）の実施</li> <li>・ 子供たちの基本的な生活習慣の確立や規範意識の醸成を図るための関係機関との連携</li> </ul>	◎
総合評価	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 学校教育支援室連絡会は、月 1 回定期的に行った。檜原村学校教育支援室長を中心に、各学校長と協議を深め、檜原村立小中学校一貫教育基本計画第三期計画の充実に向けて支援を行った。</li> <li>・ 小中学校一貫教育推進委員会において、小中学校一貫教育基本計画第三期計画の進捗状況や今後の方向性について確認し、その内容項目の達成に向けた支援を行った。</li> <li>・ 檜原学園の研究報告冊子、「檜原学園の教育」について進捗状況を確認し、引継ぎ資料や研究の成果資料となるよう、助言・支援を行った。</li> </ul>	◎
今後の方策	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 小中一貫教育基本計画第三期計画のさらなる充実に向けて、児童・生徒・教員及び保護者の評価を実施し、改善を図っていく。</li> <li>・ 檜原村の総合的な学習の時間の内容や系統性を見直し、持続可能な社会の担い手の育成に向けた取組を推進するよう支援する。</li> <li>・ 毎年安定して総合的な学習の時間が展開できるよう、招い</li> </ul>	

	<p>たゲストティーチャーを記録した講師リストを作成し、新たに人材紹介支援なども行う。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 児童・生徒が檜原村の各地区に伝わる郷土芸能を網羅的に観賞できるよう、学園主催の「郷土芸能鑑賞教室」の実施に向けた支援を行う。</li> </ul>
--	--

## 5 取組の方向5「教職員研修及び教育環境の充実」

基本施策	概要	評価の結果
⑫ 教職員の資質・能力の向上	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 学習指導要領への対応を含め、多様化する教育課題への対応として、学校における教育活動の充実を図るための取組の支援</li> <li>・ 学校の組織力の向上を図るため、教務主任会、生活指導主任会、研究主任会、保健主任会等の実施</li> <li>・ 東京都及び多摩教育事務所、西多摩郡等が主催・共催の、必要とされる各種研修会への参加支援</li> <li>・ スクール・サポート・スタッフ制度の推進</li> </ul>	○
⑬ 特別支援教育の推進	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 特別支援教育推進委員会の実施</li> <li>・ 専門家チームによる小・中学校の巡回相談の実施</li> <li>・ 特別支援教室・固定学級の授業の質の向上（ユニバーサル・デザインの取組）への支援</li> <li>・ 特別支援教育担当者連絡会の開催</li> <li>・ 通級指導学級（情緒障害）ならびに特別支援教室の支援</li> <li>・ 就学相談委員会における「特別支援教室」の継続・終了判定の実施</li> </ul>	◎
⑭ 開かれた学校づくり	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 学校評価及び学園評価（児童・生徒、保護者によるアンケート調査、教職員の自己評価、学校関係者評価）についての指導・助言</li> <li>・ 学校・家庭・地域が一体となった学校運営連絡協議会の充実に向けた支援</li> <li>・ 学校の教育活動の保護者及び地域への公開及び情報発信の強化促進</li> </ul>	○

	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 特色ある学校づくり事業として、小学校及び中学校への補助金交付による支援</li> <li>・ 社会教育係と連携を図った支援の実施</li> <li>・ 「社会に開かれた教育課程」の実現に向けた取組への支援</li> </ul>	
⑮学校施設・設備の整備	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 学校施設の修繕・維持管理の実施</li> <li>・ 教育機器・機材の更新整備の実施</li> <li>・ 情報通信機器（ICT）の更新整備の実施</li> <li>・ 「GIGAスクール構想」における一人一台端末活用の推進</li> <li>・ 校務支援システム活用の推進</li> </ul>	○
総合評価	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 「教職員の資質・能力の向上」については、東京都教育委員会等が主催する研修会への参加を支援するとともに、校内OJTで還元するよう指導・助言を行った。また、「檜原村立学校における働き方改革推進プラン」に基づき、校務支援システムを活用した教員の業務負担を軽減や、学校教育の質の向上を図る取組を支援した。</li> <li>・ 「特別支援教育の推進」については、専門チームと指導主事による「保・小・中巡回相談」を通して、学校に対し、専門的見地からの障害特性に応じたアセスメントに基づく支援を行った。また、定期的に特別支援教育推進委員会を開催し、発達障害の教育の充実を図った。</li> <li>・ 「開かれた学校づくり」については、ホームページ等を活用して、学校の教育活動を保護者や地域に情報発信を行う取組を支援した。また、社会と共有・連携しながら教育課程を実施する「社会に開かれた教育課程」の実現に向けた支援を行った。</li> <li>・ 「学校施設・設備の整備」については、新たな学習クラウドの追加やタブレットPCの整備を実</li> </ul>	○

	施することで、学校 I C T 環境の更なる充実を図った。	
今後の方策	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 学習指導要領の理念に基づき、カリキュラム・マネジメントを中心として、学校の組織力向上を図るための支援を行う。また、「働き方改革推進プラン」の実現に向けた取組をさらに推進していく。</li> <li>・ 特別支援教育の推進では、専門家チームと指導主事による巡回相談、檜原村特別支援教育担当者連絡会、檜原村特別支援教育推進委員会からなる重層的な特別支援教育体制を今後も継続し、推進する。</li> <li>・ 開かれた学校づくりでは、学習指導要領の理念である社会と共有・連携しながら教育課程を実施する「社会に開かれた教育課程」の実現に向けた取組を支援する。</li> <li>・ 学校施設・設備の整備では、情報化社会に対応した、I C T 教育を推進するため、G I G A スクール構想を念頭に置き、情報教育担当者連絡会での情報共有や、日常での情報通信機器の活用、整備を推進する。</li> <li>・ 校務支援システムを効果的に活用し、業務改善を図っていく。教職員の働き方改革が更に進むよう支援する。</li> </ul>	

## 6 取組の方向 6 「総合的な教育力」と「生涯学習」の充実

基本施策	概要	評価の結果
⑩生涯学習の振興	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 俳句教室については、講師を招き、参加募集を公募で行い、毎月第3木曜日に、村役場等において開催した。参加者は、12回で60名であった。</li> <li>・ 水墨画教室については、参加募集を公募で行い、7月・11月・2月に福祉センターにおいて開催した。参加者は11回で48名であった。</li> <li>・ 水彩画教室については、参加募集を公募で行い、4月から3月の毎月第3火曜日に、やすらぎの里等で開催した。参加者は12回で55名であった。</li> </ul>	○

	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 村立図書館については、毎週月曜日と第三火曜日を休館日とし、年間開館日数 281 日、蔵書冊数 44,671 冊であり、利用者数は 3,179 人名であった。また、17 ステーションからなる、移動図書館車を 2 週間に 1 巡回させ、利用者数は 972 名であった。その他の事業として、「ブックスタート」を 2 回開催し、参加者は 3 名、「どこでもお話し会」を 5 回開催し、参加者は 12 名であった。「保育園訪問」は毎月第 3 金曜日に読み聞かせ活動を行った。「小学校訪問」では毎月 1 回、1～4 年生への読み聞かせ活動を実施した。「夏のおばけ話会」は 7 月 15 日に開催し参加者は 29 名であった。「クリスマス会」は 12 月 14 日に開催し、参加者は 32 名であった。</li> <li>・ 東京都交響楽団によるプレミアムコンサートは、中止とした。</li> </ul>	
<p>⑰郷土の文化と保存の継承</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 重要文化財小林家住宅公開活用については、毎週火曜日が休館日で、年間入館者数 3,843 名、モノレール利用者 3,143 名であった。</li> <li>・ 登録有形文化財旧高橋家住宅については、4 月 29 日から公開を開始し、入館者数は 6,602 名であった。</li> <li>・ 郷土資料館については、年間開館日数 300 日、入館者数は 3,749 名であった。特別展の開催状況は、「夏休み昆虫標本展」を 7 月 28 日から 8 月 31 日まで、「お祭り写真展」を 9 月 15 日から 10 月 16 日まで、「檜原村野鳥写真展」を 2 月 2 日から 3 月 5 日まで、「石塚岩雄写真展」を通年で開催した。</li> <li>・ 文化財専門委員会 第 1 回～第 11 回</li> </ul>	○
<p>⑱スポーツの振興</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 村民スポーツ教室については、小学校の体育館で 2 回開催した。</li> </ul>	○

	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 村民ハイキングについては、山梨県昇仙峡を散策予定としていたが、新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止とした。</li> <li>・ スケート教室については、オリンピック会場であった長野県長野市エムウェーブで1月28日に実施し、小学生12名中学生4名が参加した。</li> <li>・ ジュニアスキー教室については、小学4年生～中学2年生までを対象に長野県白馬村にて、2泊3日で開催した。児童・生徒25名が参加し、利島村からは、11名が参加し交流が行われた。</li> <li>・ 東京ヒルクライムHINOHARAステージ大会については、スタート地点を払沢の滝バス停付近とし、ゴール地点については檜原都民の森の駐車場に変更のうえ10月2日に実施した。</li> </ul>	
<p>⑱家庭、学校、地域の連携・協力の強化</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 成人式については、令和5年1月9日に対象者17名、出席者12名で開催した。新成人が小・中学生在校時に、お世話になった先生方によるビデオレターを作成し、当日会場にて放映した。</li> <li>・ 中学生海外派遣事業については、新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止とし、代替事業として東京グローバルゲートウェイをメイン会場として、英会話やテーブルマナーを中心とした「檜原村中学生英語研修等事業」を3月18日～19日の1泊2日で実施した。檜原中学校の3年生9名が参加した。</li> <li>・ 子ども国際交流音楽祭及び交流コンサートについては、10月10日に吹奏楽部8名による参加の羽村公演、そして10月12日に檜原中学校でウィーンによる演奏者の指導と演奏による鑑賞教室を実施した。</li> <li>・ 子ども体験塾利島サマースクールについては、実施に向けて準備を進めていたが、新型コロナウイ</li> </ul>	<p>◎</p>

	<p>ルス感染拡大防止のため中止とし、また、子ども体験塾駅伝大会についても、新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止とした。</p>	
<p>総合評価</p>	<p>社会教育事業は、新型コロナウイルス感染症の影響から、一部の事業が中止を余儀なくされたが、中学生海外派遣事業は代替事業を実施し、実施可能な事業は、事業内容の見直しをして実施した。</p>	<p>○</p>
<p>今後の方策</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 昨年度に引き続き、村民が生涯を通じて、自ら学び、文化・スポーツに親しみ、社会参加、他地域との交流等の事業再開に向けた事業展開に取り組む。また、人口の減少に伴い、檜原村の実態にあった事業を計画する必要がある、見直しを含めて事業を検討していく。</li> </ul>	



## 第5 檜原村教育委員会の令和4年度の活動状況について

### 1 教育委員会

年月日	件名	審議内容等
令和4年 4月20日	教育委員会定例会	① 報告事項等
5月26日	教育委員会定例会	① 令和4年度要保護・準要保護児童生徒の認定について
6月22日	教育委員学校訪問 教育委員会定例会	① 報告事項等
7月27日	教育委員会定例会	① 報告事項等
8月29日	教育委員会定例会	① 令和4年度檜原村一般会計補正予算（第2次）の原案中教育に関する部分の意見聴取について ② 檜原村教育委員会の権限に属する事務の管理及び執行の状況の点検・評価について
9月21日	教育委員会定例会	① 檜原村立学校いじめ防止基本方針の改定について
10月19日	教育委員会定例会	① 報告事項等
11月24日	教育委員会定例会	① 令和4年度檜原村一般会計補正予算（第4次）の原案中教育に関する部分の意見聴取について ② 令和5年度檜原村教育委員会の教育目標について
12月21日	教育委員会定例会	① 報告事項等
令和5年 1月25日	教育委員会定例会	① 報告事項等
2月8日	教育委員会臨時会	① 檜原村立檜原中学校校長の異動の内申について ② 檜原村立檜原小学校副校長の異

		動の内申について
2月22日	教育委員会定例会	<ul style="list-style-type: none"> <li>① 令和4年度檜原村一般会計補正予算（第5次）の原案中教育に関する部分の意見聴取について</li> <li>② 令和5年度檜原村一般会計予算の原案中教育に関する部分の意見聴取について</li> <li>③ 檜原村立小中学校におけるインターネットの活用に関する要綱の一部を改正する要綱の制定について</li> <li>④ 檜原村公立学校事案決定規程及び檜原村公立学校文書管理規程の一部を改正する規程の制定について</li> <li>⑤ 地方公務員法の一部を改正する法律の施行に伴う関係教育委員会規程の整備に関する規程の制定について</li> <li>⑥ 檜原村立学校の学校医、学校歯科医及び学校薬剤師設置要綱の制定について</li> </ul>
3月23日	教育委員会定例会	<ul style="list-style-type: none"> <li>① 檜原村育英資金貸付基金条例施行規則の一部を改正する規則について</li> </ul>

## 2 その他の事業

年月日	件名	審議内容等
4月1日	檜原村教育管理職辞令伝達式、 教職員着任式 (役場：住民ホール)	教育管理職及び檜原学園長辞令 交付、教職員への辞令交付等
4月6日	檜原小学校入学式 (檜小 体育館)	新入学児童 14名
4月7日	檜原中学校入学式 (檜中 体育館)	新入学生徒 6名
4月16日	檜原学園PTA総会 (書面開催)	① 4年度役員承認・事業計画予 算等
4月18日	西多摩郡教育委員会連絡協議会 定期総会 (役場：住民ホール)	① 3年度事業・決算報告 ② 4年度事業計画・予算
4月22日	教育施策連絡協議会 (オンライン配信)	
5月10日	東京都市町村教育委員会連合会 定期総会 (書面開催)	① 3年度事業・決算報告 ② 4年度事業計画・予算 ③ 4年度役員選出
5月16日	全国町村教育長会定期総会 (銀座ブロッサム)	① 3年度事業・決算報告 ② 4年度事業計画・予算
5月26日	関東甲信越静市町村教育委員会 連合会総会 (書面開催)	① 3年度事業・決算報告 ② 4年度事業計画・予算 ③ 4年度役員選出
5月28日	檜原学園運動会 (檜中 校庭)	
6月29日	檜原学園セーフティ教室 (檜原小・中学校)	
7月22日 ～24日	子ども体験塾利島サマースク ール (利島村)	中止
7月25日	東京都市教育長会研修会	

	(東京自治会館)	
7月28日	西多摩地区(檜原村・奥多摩町・日の出町・瑞穂町)小中学校教員公募説明会 (国分寺市第四小学校)	中止
8月20日 8月21日	払沢の滝ふるさと夏まつり (小学校校庭)	中止
9月21日	檜原村教育相談室運営協議会 (役 場)	
9月21日	檜原村総合教育会議 (役 場)	
9月22日	道徳授業地区公開講座 (檜原小・中学校)	
10月 2日	第10回東京ヒルクライム HINOHARA ステージ大会	
10月 7日	東京都市町村教育委員会連合会 第1回研修会 (オンライン研修)	
10月10日	子ども国際交流音楽祭交流コンサート (羽村市ゆとろぎ)	羽村市・奥多摩町・檜原村が参加 (3市町村で合唱を共演)
10月12日	子ども国際交流音楽祭交流コンサート (檜原中学校)	ウィーンの演奏者による中学校吹奏楽部8名が指導され共演を実施
10月25日	中学校連合音楽会 (羽村市ゆとろぎ)	中止
10月29日	ふるさと檜原学習発表会 (檜原小学校)	
11月 2日	小学校連合音楽会 (秋川キララホール)	日の出町・檜原村・奥多摩町の各小学校が参加
11月 7日	地域芸能鑑賞会 (檜原小・中学校)	柏木野神代神楽保存会

11月10日	市町村教育委員会研究協議会 (群馬県)	
11月11日	東京都市町村教育委員会連合会 第1ブロック研修会 (日の出町)	
11月16日	教員公募面接選考 (東京都立川合同庁舎)	
11月26日	檜原小・中学校合同マラソン大会 (都道)	
令和5年 1月4日	檜原村賀詞交歓会 (役場 住民ホール)	中止
1月4日 ～6日	ジュニアスキー教室 (長野県白馬村)	檜原村25名・利島村11名参加
1月9日	檜原村成人式 (役場：住民ホール)	対象者17名、出席者12名
1月25日	檜原村学習支援教室運営委員会 (役場)	
2月16日	西多摩郡教育委員会連絡協議会 視察研修 (横田基地・瑞穂町図書館)	
2月22日	檜原村教育相談室運営協議会 (役場)	
2月22日	学校給食共同調理場給食提供状況確認 (役場)	
2月28日	東京都市町村教育委員会連合会 第2回研修会 (東京自治会館)	
3月17日	檜原中学校卒業式 (檜中 体育館)	卒業生9名
3月18日 ～19日	檜原村中学生英語研修等事業 (東京グローバルゲートウェイ)	中学生海外派遣事業の代替事業 中学3年生 9名参加

	他)	
3月23日	檜原小学校卒業式 (檜小 体育館)	卒業生 11名